

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
大道筋の賑わい創出事業		堺区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H27	H28	H29
区役所がコーディネーターの役割を担い、区・局間の連携およびさまざまな取組を進めている団体や個人、企業などと連携し、地域における取組を促進していくことで、堺区の重要な資源の一つである「大道筋」をはじめとした地域の賑わい創出・活性化につなげることを目的とする。	○区・局間連携の促進 ○区民との協働で取り組むまちづくりの推進 ○大道筋の賑わい・活性化	庁内会議の開催回数および大道筋に資する区域まちづくり事業の執行数	庁内会議 2回 事業執行数 -	庁内会議 3回 事業執行数 1件	庁内会議 1回 事業執行数 4件
		区民協働による取組の参加(来場)者数	(清掃)月平均20人 (マルシェ) 回平均850人	(清掃)月平均6人 (マルシェ) 回平均700人	イブニングマルシェ 延べ約3,000人
		「場(プラットフォーム)」や会議等の実施回数	11回	6回	5回
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 堺区の重要な資源のひとつである「大道筋」をはじめとした地域の賑わい創出・活性化に向けて、区がコーディネーターの役割を担い、市の施策・取組等を整理し、関係部局と連携しながらまちづくりを進めていく必要がある。	◎ 大道筋沿道の住民や事業者、企業、まちづくり活動団体などの知恵やアイデアをもとに、社会情勢などもふまえて役割分担しながら取り組んでいる。	○ プレミアムフライデーに合わせたイブニングマルシェや、「自転車のまち堺」という区の特徴を活かした自転車タクシーの走行実験などの新たな取組を行った。また、大道筋まちづくり広場を開催することで、まちづくりに関心のある参加者同士がつながるきっかけになった。	○ 住民やまちづくり活動団体、行政などが各自の取組や活動などの情報を相互に共有することができるとともに、大道筋沿道の住民や事業者などが、まちづくり実践家、市の若手職員などともつながることで、多様なまちづくりを進めることができる。また、区域内の埋もれた人材発掘につながるとともに、隠れた能力を発揮する「場」の創出にもつながる。		
⑤自立発展性	総合評価				
○ まちづくりの主体である住民や事業者、まちづくり活動団体などが自立することは一定見込めるが、行政の関与も必要で、それぞれの強みを活かしていく必要がある。	○ ○「大道筋」をはじめとした地域の賑わい創出・活性化、観光振興、雇用促進等につなげるために、自転車まちづくり部と自転車タクシー走行実験を実施することができた。 ○市民活動団体と協働による取組(イブニングマルシェ)を実施することで、市民活動団体が主体的に活動に取り組む機運の醸成につながった。 ○「大道筋まちづくり広場」では、まちづくりに関心を持つ住民や事業者、まちづくり活動団体、行政などが、それぞれの取組や活動の情報を共有することで、区民が主体的にまちづくりを考えるきっかけとなった。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	近年、同広場に類する民間主導の学び、出会い、交流する『場』が開催され始めたことから、定期的な大道筋まちづくり広場の開催から随時開催へ変更する。また、これまで以上に多様な分野で活動されている人どうしがつながる機会を創出するために、民間主導の「場」を一堂に会した新たな取組を実施する。なお、区民協働で取り組むまちづくりにおいては、継続して関係部局と連携しながら取り組んでいく。				